



自然が泣いている

不法投棄は許しません

巡視員の報告から

富士山麓や愛鷹山の自然は、市民みんなの財産です。

日本一の富士山を背景にしている富士市は、自然に恵まれています。この自然も廃棄物の不法投棄や野鳥の不法な捕獲などによって荒され泣いています。

ここで紹介する自然巡視員制度はきめ細かく自然を守っていかうとするものです。

自然の木や林は保護

市は、市民生活を風水害などから守り、人々の心のやすらぎを与える自然を大切にしてきました。

市面積の半分を山林が占めていますが、この地域以外ではあまり見られないアシタカツツジ、富士桜や丸火自然公園の広大なこなら林など自然の木や林は少なく、これからも保護していかなければなりません。

自然の大敵は不法投棄

自然巡視員の昨年の報告にも数多くのごみ不法投棄発見の報告がされています。

特に目立った不法投棄場所は、大淵丸火自然公園から県道富士七色石、裾野線へ出る手前の山林分譲地周辺や岩本山周辺の道路脇付近などでした。

これからは気候もよくなり、ハイキングなどに行く機会が増えると思います。その時道路脇に大量のごみが捨てられていたら誰しも不快な感じを持つでしょう。

自然も自分の庭と同じです。絶対に不法投棄を見のがすことはできません。見かけた時には、場所・日時・車のナンバーなどを記録しておいて市環境衛生課（☎51-0123内線566）へ通報してください。追跡調査を行います。

みんなで清潔な住みよいまちづくりを

— 5月15日に市民美化清掃 —

「富士市をきれいにする市民運動推進連絡協議会」は、みどり豊かで清潔な住みよいまちづくりの市民運動の一環として、美化清掃など全市民的な実践活動を展開しています。

昭和58年度第1回市民美化清掃として、空きかん、散在ごみ、河川、側溝などを対象に地域の総合的な美化清掃を行います。

この事業は、5月29日に実施が予

定されている関東地方1都9県の統一美化キャンペーン事業に呼応するものです。

市民のみなさんの参加をお願いします。

実施内容

◆実施する日

5月15日(日) (雨天の場合22日)

◆実施する時間

8:00~9:30ですが、自治会(町内会)単位で実情に合わせて決定してください。

- ◆ごみ、土砂などの仕分け、及び回収
 - ・可燃物……紙くず、木くずなど
 - ・不燃物……ビニール、発泡スチロール、空きかん、空きびん、金属類など

※家庭ごみは出さないでください
・回収は10:00から特別収集を行います。なお、土砂の収集車への積み込み作業は各自治会でお願いします。

◆清掃活動問合せ先

市環境保全課☎内線562



巡視員の役割

自然環境保全に関心をもち、指導力と行動力に富んでいる10人の方々に自然巡視員をお願いしてあります。

巡視員は、自然の状況をつかむため、各巡視コースを月に1回以上観察しながら巡視し、状況を市環境保全課へ報告しています。

巡視の内容は、松くい虫の害による松枯の様子や塩害による松林の変色などを発見したり、ごみの不法投棄の多い所には看板を設置したりしています。

また、不法な宅地造成や山林伐採など地域の開発状況を事前に知らせています。

動物（しか、山ざる等）を目撃し

た場合、目撃カードに名前、場所、時間を記入し、人家近くで発見した時は、農作物の被害状況などもチェックしています。

鳥獣の不法な捕獲、狩猟を行っている人への指導や助言も行い、鳥獣の保護対策にも努めています。

市は、報告を受けた中で、至急対処しなければならないことは、関係課で調査をしてそれぞれ対応しています。



富士市自然巡視員のみなさん

住所・氏名	担当地域	住所・氏名	担当地域
小川武好 桧新田98-1	元吉原、田子浦地区の松林と海岸線。沼川、江川周辺。須津、江尾山周辺など	田村栄 神谷723	中里農道アセミ平、林道金山、中里増川林道、大塚農道、神谷山道、須津田子浦線など
佐藤清太郎 桑崎394-1	比奈、立石、間門、石井、桑崎林道。勢子辻林道。桑崎水源地附近。陽光台、千束、内山線など	土屋利治 中丸850-5	田子浦海岸等の保安林。富士川など
平井富雄 桑崎1025-22	林道境塚線、高塚線、千束線。丸火方面、呼子方面。大淵、十里木方面など	鈴木賢次 岩本1749	岩本山から大栄興業周辺 岩本山公園など
勝又忠一 大淵5445	林道千束線、勢子辻線、板小屋線境塚線、大峯線、高塚線、曾比奈線、双ッ山線等。丸火自然公園内、内山町林業センター周辺。大富士ゴルフ場附近など	望月一郎 大淵7366	勢子辻から境塚方面。 丸火自然公園、七色石林道など
		遠藤金作 大淵7413	丸火自然公園外など
		石川芳彦 大淵7577	丸火自然公園附近、産業廃棄物処理場。岩倉学園から十里木境塚線など



園児の自慢はロボットの顔

浜保育園舎完成

緑の松林に囲まれた静かなところに、市立浜保育園が今春完成しまし

た。

公共施設に何か特徴をもたせたいという考えで、クリーム色とエンジ色に塗り分けられた園舎の正門にはパンダの顔。さらに階段を利用した壁にはロボットの顔が画かれています。

今年度から新しい園舎で保育を受けている子どもたちは、自分たちのアイドルとして、ロボットの顔を自慢しています。

園長先生は、「教室は明るいし、サッシがびっしりしているので外の音が気にならず、子どもたちがおちつ

いてきた」と話していました。

使い易さを考えて

浜保育園は、鉄筋コンクリート造り2階建てで、事業費1億2,600万円をかけて完成しました。

定員は60人で、現在幼児6、年少16、年中17、年長18人の子どもたちが通園しています。

2階のベランダにはプールがあり、その他の砂場やブランコなども整然と置かれていて、使い易いように工夫されています。